

自分が“世界”と出会う場所

早来地区 義務教育学校 について

はじめに

令和5（2023）年4月、早来地区にて義務教育学校が開校されます。

皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3（2021）年8月号より連載をスタートしました。今月は、新しい学校の『名前』に関し、9月に行われたアンケート結果を中心に説明します。

今後広報紙で

紹介すること

今後は次のようなテーマで義務教育学校に関する情報をお伝えしていく予定です。

1月号

建設地や校舎の配置などについて

2月号

なぜ義務教育学校としたのか、なぜその場所にしたのかなどの理由について

3月号

この学校を建てるためにかかる費用などについて

4月号

開校までのスケジュールや新しい学校の教育目標などについて

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによつては、内容を変更することがありますのでご了承ください。

新しい学校の名前について

早来地区に建つ義務教育学校は、早来中・早来小・遠浅小・安平小の4校が閉校し、この4校に通う区域の方が一つの学校に集まって、新たな学校生活を送ります。つまり、全く別の新しい学校としてスタートするということになりますから、新しく学校の名前を付けることとなります。

新しい学校の名前をどのような決めていくのかを協議した結果、年齢や居住地に関係なく、安平町のこの学校に興味・関心を持っている皆さんから意見を聴いて決めていこうということになりました。

令和4（2022）年3月までは、正式に決定したいと考えています。

※広報紙などでは、まだ名前が決まっていないため、「新しい学校」や「早来地区義務教育学校」と表現しているものです。

校名に関するアンケートを実施しました

9月6日から30日にかけて、新聞折り込み、早来地区小中学校に通う児童・生徒へのチラシ配布、町広報紙への折り込みのほか、インターネットを活用し広くご意見を募集しました。

結果として、用紙での回答29件、インターネットによる回答40件、合計で69件のご応募をいただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

アンケート内容

今回は、「安平町立（あびらちようりつ）」に続く部分について自由に記載していただき、その理由や想いを書いていただきました。